

各地区連合町内会長 様
各自治会・町内会長 様

市民局地域活動推進課長

「地域づくり大学校」* 修了生の活動事例の発信について（情報提供）

このたび、6月30日に、「地域づくり大学校」修了生の活動事例を横浜市ホームページで発信しましたので、お知らせいたします。

1 「地域づくり大学校」修了生の活動事例について

横浜市では、地域活動の担い手を育成する取組として、「地域づくり大学校」（地域大）をNPO法人等と協働で実施しており、その修了生から地域課題の解決や魅力づくりにつながる様々な取組が生まれています。そこで、地域大修了生の活動事例を18区から1例ずつまとめて、紹介しています。

これから地域活動を始めたいと考えている方のきっかけづくりや、既に地域で活動されている方の活動継続のヒントとなるよう作成していますので、自治会町内会の皆様におかれましても今後の活動のご参考にいただければ幸いです。また、地域大につきましても、ご興味ありましたら、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

なお、本件については、6月30日（水）に記者発表をしています。横浜市ホームページは、以下をご覧ください。

○横浜市市民局ホームページ URL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jirei/chikidai.html>



横浜市市民局 HP

○添付資料

- ・記者発表資料 「「地域づくり大学校」の修了生の活動事例を ホームページで発信します！」

市民局地域活動推進課

担当：関、森

TEL 671-3624 FAX 664-0734

* 港北区では「港北つなぎ塾」の事業名称で実施しています。

「地域づくり大学校」の修了生の活動事例を ホームページで発信します！

横浜市では、地域活動の担い手を育成する取組として、「地域づくり大学校」（地域大）をNPO法人等と協働で実施しており、その修了生から地域課題の解決や魅力づくりにつながる様々な取組が生まれています。そこで、地域大修了生の活動事例を18区から1例ずつまとめて、ホームページで発信します。

修了生が地域大を通して地域で実現したことや、コロナ禍で工夫しながら取り組んだ事例などを紹介しています。これから地域活動を始めたいと考えている方のきっかけづくりや、既に地域で活動されている方の活動継続のヒントとなるよう作成していますので、ぜひご活用ください。

◆「地域づくり大学校」とは

「地域づくり大学校」は、これから地域で活動したいと考えている市民の方や、自治会・各種委嘱委員など地域で既に活動されている方が、活動事例の見学やグループワークを通じて、地域の課題解決の手法やまちの魅力づくりを学び合う講座です。

（これまで、2,497人の市民の方に参加いただきました。（H26～R2））

※「地域づくり大学校」の名称は区ごとに愛称を設定しているため、実際の講座名は区によって異なります。

◆「地域づくり大学校」～修了生の活動事例～

1 掲載している事例

認知症カフェ・こども食堂などの『交流・居場所』、『地域のボランティア組織』の立ち上げ、地域のいこいの場を目指す『環境活動』、情報誌やホームページ・SNS等による『情報発信』、『多世代交流』ができるイベントの企画 など

2 ホームページ

事例の内容は、以下のページからご覧いただけます。

市民局地域活動推進課

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jirei/chiikidai.html>

〔*各区の「地域づくり大学校」の詳細は、各区役所のホームページから
ご覧いただけます。（上記ページ内にリンク先を掲載しています）〕

地域活動に取り組む際の
ヒントとして、ぜひ、
ご活用ください！



掲載事例の一例

旭区の「中堀川いこいの場づくり」
（令和3年、第28回横浜環境活動賞を受賞）
※写真は、中堀川プロムナード沿いのフェンスに地元小学校児童絵画の掲示作業を会員皆で実施している様子。

お問合せ先

市民局地域活動推進課長 小河内 協子 電話 045-671-2298

事例 11

情報発信

【港北区事例】「思いあいのまち樽町」（平成 28 年 7 月開設）

団体紹介

- ・団体名：「ひっとプラン港北樽町地区推進委員会」
（樽町地区連合町内会、樽町地区社会福祉協議会、樽町地域ケアプラザ、樽町中学校等で構成）
- ・活動者の受講年度：平成 30 年度（第 3 期生）
- ・メンバー数：約 30 名
- ・活動実績：令和元年度は、HP 更新 50 回以上、広報誌 2 回発行
- ・活用制度：（地域のチカラ応援事業補助金）



「思いあいのまち樽町」ホームページ

活動内容

工場跡地のマンション化などで人口流入が続いている樽町地区では、インターネットを積極的に活用して、イベント広報誌「樽町イベント掲示板」とホームページによる情報発信に加え、SNS（Twitter、LINE 公式アカウント）による取組を進め、情報共有を図っています。

樽町地区の代表の小泉さん（令和 2 年度に樽町連合町内会長に就任）は、平成 30 年度の港北つなぎ塾で自治会町内会におけるホームページによる情報発信についての事例報告を行い、令和元年度港北つなぎ塾では、「地域活動へ参加を促すために、どのような情報をどのように発信するか」を話し合うグループにアドバイザーとして参加。また、令和 2 年度港北つなぎ塾「つなぎ塾トーク」では、地区の社会福祉協議会、子育て・高齢者支援に携わる仲間の皆さんとともに、コロナ禍で変化した地域活動の現状について、発信してくれました。

日常的な連絡手段としては、「LINE」をうまく活用したり、また、連合町内会など地域の打合せでは、会議資料をプロジェクターで投影し、ペーパーレスにも取り組んでいます。一方、居場所の休止により子育て中の母親が孤立するなど、顔と顔を合わせ直接関わり合うコミュニケーションの重要性も感じており、オンライン活用とリアルのつながりをどう組み合わせていくか、模索しています。